

8

策定の経緯

- 8-1 ガイドライン策定の経緯・体制
- 8-2 引用・参考文献一覧



8 策定の経緯

8-1 ガイドライン策定の経緯・体制

本ガイドラインは、有識者、関係団体、市民等の代表による「熊本市景観審議会」及びその下部組織の「熊本市景観審議会専門委員会」において、屋外広告物庁内関係課と検討しました。

●景観審議会委員 ◎会長、○副会長、(専)専門委員会委員

◎田中 智之(専)	熊本大学 大学院先端科学研究部(工学系) 教授
○原田 和典(専)	崇城大学 芸術学部教授
奥住 弘久	熊本大学 大学院人文社会科学研究部(法学系) 教授
柴田 祐	熊本県立大学 環境共生学部教授
鄭 一止	熊本県立大学 環境共生学部准教授
星野 裕司(専)	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授
吉川 勝広	熊本学園大学 商学部教授
川口 耕司	熊本県広告美術協同組合(団体推薦)
竹内 浩二	(一社)熊本県建築協会(団体推薦)
東 悦子	熊本市中心商店街等連合協議会(団体推薦)
藤田 里恵	(公社)熊本県建築士会(団体推薦)
丸山 幸	(一財)日本造園修景協会(団体推薦)
面木 健	一般公募
高木 礼子	一般公募
山田 礼仁	熊本県土木部道路都市局都市計画課参事

●景観アドバイザー (※五十音順)

大川 隆司	熊本広告業協会
眞藤 隆次	熊本広告業協会
田中 利一	長田広告株式会社
中川 晃	株式会社ヨネザワ

●屋外広告物庁内関係課

都市建設局都市政策部 都市デザイン課(事務局)・都市政策課・建築指導課・市街地整備課、
都市建設局土木部土木総務課、農業委員会事務局、文化市民局市民生活部 生活安全課・地域政策課

景観審議会

↑ 報告

景観審議会専門委員会

意見 ↓ ↑ 調査・検討

屋外広告物庁内関係課

●策定経緯

年	日付	会議名	内容
令和3年 (2021年)	6/17	熊本市議会都市整備委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン策定着手報告
	7/19	第21回専門委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン策定の方針 熊本市景観計画の改定に向けた調査の方針
	8/26	第22回専門委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン策定の方針 熊本市景観計画の改定に向けた調査の方針
	10/4	第23回専門委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン骨子
	10/25	第24回専門委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン骨子
	11/17	第26回専門委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン骨子
	11/26	第32回熊本市景観審議会	熊本市屋外広告物ガイドライン骨子
	11末～ 12末	屋外広告物のある景観についてのアンケート実施 (配布数 1000 名：熊本市在住の方)	
令和4年 (2022年)	12/9	熊本市議会都市整備委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン(骨子)説明
	12/17	第28回専門委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン骨子
	1/21	第30回専門委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン骨子
	2/14	第31回専門委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン素案
	3月	広告業者(6業者)へ個別ヒアリング実施	
	3/15	熊本市議会都市整備委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン(素案)説明
	3/16	第33回専門委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン素案
	3/24	第33回熊本市景観審議会	熊本市屋外広告物ガイドライン素案
	4/26	第34回専門委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン素案
	4/28～ 5/27	パブリックコメント実施	
	5/24	第35回専門委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン素案、概要版(案)
	6/13	第36回専門委員会	熊本市屋外広告物ガイドライン素案(パブリックコメント結果) 概要版(案)
	6/21	熊本市議会都市整備委員会	熊本市屋外広告物ガイドラインパブリック コメント結果についての報告
	7/4	第34回熊本市景観審議会	熊本市屋外広告物ガイドライン(案)、概要版(案)

8-2 寄稿

熊本県広告美術協同組合、熊本広告協会、熊本広告業協会 ※五十音順

8-3 引用・参考文献一覧

本ガイドラインの検討にあたり、引用及び参考にした参考文献は以下のとおりです。

- 公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン(国土交通省)
- 道路標識設置基準(国土交通省)
- オーナーのための看板の安全管理ガイドブック(国土交通省)
- 屋外広告に関するアンケート調査(マイボイスコム株式会社)
- 屋外広告物の広告効果に着目したデザイン要素に関する研究(芸術工学会誌 No.76)
- 屋外広告物の広告効果を向上させる表示方法に関する研究(芸術工学会誌 No.77)